

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

|            |  |                   |    |    |    |       |    |         |               |
|------------|--|-------------------|----|----|----|-------|----|---------|---------------|
| 事務事業名      |  | 国土強靱化地域計画事業       |    |    |    | 事業区分  |    | 担当      |               |
|            |  | 政策体系上の位置付け        |    |    |    | 新規/継続 | 継続 | 事務事業No. | 030101001079  |
| 総合計画の施策名   |  | 0301 消防・防災対策の充実   |    |    |    | 単独/補助 | 単独 | 所属課     | 020801<br>防災課 |
| 政策体系       | 政策名  | 03 安全安心な暮らしのまちづくり |    |    |    |       |    | 課長名     |               |
|            | 施策名  | 01 消防・防災対策の充実     |    |    |    |       |    | グループ    | 防災グループ        |
|            | 手段名  | 01 ①消防防災意識の向上     |    |    |    |       |    | 担当者名    |               |
| 財務会計上の位置付け |  |                   |    |    |    | 事業期間  |    |         |               |
| 予算科目       | 会計   | 款                 | 項  | 目  | 事業 | 細     |    | 一般会計    |               |
|            | 01   | 09                | 01 | 04 | 01 | 00    |    | 災害対策事業  |               |
| 法令根拠       | 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法、桜川市国土強靱化地域計画策定委員会設置要綱 |                   |    |    |    |       |    |         |               |

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

|    |  |  |
|----|--|--|
| 手段 | (1) 事務事業の概要  |  |
|    | ①事務事業の概要 (事務事業の全体像)<br>東日本大震災から得られた教訓を踏まえ、平時から必要な防災及び減災、迅速な復旧復興に係る施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成25年12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法が公布・施行 (法律第95号、第10条) され、平成26年6月には、同法に基づく国土強靱化基本計画が策定された。平成29年2月には茨城県国土強靱化計画が策定された。それに基づき令和元年度に桜川市国土強靱化策定地域計画策定委員会を設置し、令和2年3月に桜川市国土強靱化地域計画を策定した。<br>【基本目標】<br>①人命の保護が最大限図られること<br>②市及び地域の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること<br>③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小限化を図ること | ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順<br>国土強靱化を取り巻く社会経済情勢等の変化や施策の進捗状況等を考慮し、計画推進期間は、概ね5年間とし施策の進捗状況等により、必要に応じて見直しを行なう。<br>・担当者打ち合わせ<br>・地域計画策定委員会<br>※必要に応じてパブリックコメントの実施<br><br>・毎年度簡易な見直しは掲示板へ掲載し、共有ファイル内の文書を担当各課により入力に依頼する。<br>・内閣官房国土強靱化推進室より国土強靱化地域計画に基づく取組に対する関係府省庁の支援等について庁内へ周知共有する。 |
|    | (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移   |  |

| ①手段 (担当者の活動内容)  | ④活動指標 (活動量を表す指標)          | 単位 | 05年度      | 06年度      | 07年度      | 08年度      | 09年度      |
|---|---------------------------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|   |                           |    | (実績)      | (実績)      | (計画)      | (目標)      | (目標)      |
| 地域計画の見直し<br>・担当者打ち合わせ<br>・地域計画策定委員会<br>※必要に応じてパブリックコメントの実施<br>・庁内への情報共有 | 策定委員会会議開催回数               | 回  | 0.00      | 0.00      | 2.00      | 1.00      | 1.00      |
|   | 担当者打ち合わせ会議開催回数            | 回  | 0.00      | 0.00      | 2.00      | 1.00      | 1.00      |
|   |                           |    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|   |                           |    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
| ②対象 (誰、何を対象にしているのか)   | ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)       | 単位 | 05年度      | 06年度      | 07年度      | 08年度      | 09年度      |
|   |                           |    | (実績)      | (実績)      | (計画)      | (目標)      | (目標)      |
| ・市民<br>・地域計画策定委員及び担当者   | 人口                        | 人  | 36,794.00 | 36,120.00 | 35,356.00 | 34,734.00 | 34,121.00 |
|   | 地域計画策定委員                  | 人  | 11.00     | 11.00     | 11.00     | 11.00     | 11.00     |
|   |                           |    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
| ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)  | ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) | 単位 | 05年度      | 06年度      | 07年度      | 08年度      | 09年度      |
|   |                           |    | (実績)      | (実績)      | (計画)      | (目標)      | (目標)      |
| 大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進する。           | 大規模自然災害等の件数               | 件  | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|   | 災害対策本部開催回数                | 回  | 1.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|   |                           |    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |

|                   |          |         |       |       |       |       |              |
|-------------------|----------|---------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| (3) 投入量 (事業費) の推移 |          | 05年度    | 06年度  | 07年度  | 08年度  | 09年度  | 期間限定<br>総投入量 |
|                   |          | (実績)    | (実績)  | (計画)  | (目標)  | (目標)  |              |
| 投入量               | 事業費      | 国庫支出金   | 千円    | 0     | 0     | 0     |              |
|                   |          | 県支出金    | 千円    | 0     | 0     | 0     |              |
|                   |          | 地方債     | 千円    | 0     | 0     | 0     |              |
|                   |          | 使用料・手数料 | 千円    | 0     | 0     | 0     |              |
|                   |          | その他     | 千円    | 0     | 0     | 0     |              |
|                   |          | 一般財源    | 千円    | 0     | 0     | 6,006 |              |
|                   | 事業費計 (A) | 千円      | 0     | 0     | 6,006 |       |              |
|                   | 正規職員従事人数 | 人       | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 |       |              |

|        |                 |    |   |                 |       |       |
|--------|-----------------|----|---|-----------------|-------|-------|
| 事業費の内訳 | 06年度事業費 実績 (千円) |    |   | 07年度事業費 予算 (千円) |       |       |
|        |                 |    |   | 12 委託料          | 6,006 |       |
|        |                 |    |   |                 |       |       |
|        |                 |    |   |                 |       |       |
|        |                 |    |   |                 |       |       |
|        |                 | 合計 | 0 |                 | 合計    | 6,006 |

|                 |  |   |   |
|-----------------|--|---|---|
| (4) 当該年度の実施内容   | 07年度の事業内容  | 08年度の事業内容   | 09年度の事業内容   |
| ※年度ごとに事業内容を記入する | 桜川市国土強靱化地域計画改定<br>・地域計画策定委員会開催<br>・庁議報告<br>・議会総務常任委員会報告<br>・議会全員協議会報告<br>・パブリックコメントの実施 | 桜川市国土強靱化地域計画細部見直し<br>・市グループウェア掲示板へ掲示し共有フォルダー内のデータの修正<br>・必要に応じて会議の開催等 | 桜川市国土強靱化地域計画細部見直し<br>・市グループウェア掲示板へ掲示し共有フォルダー内のデータの修正<br>・必要に応じて会議の開催等 |

|   |             |         |             |     |     |
|---|-------------|---------|-------------|-----|-----|
| ・ハノリツソコメント未施  |             |         |             |     |     |
| 事務事業名   | 国土強靱化地域計画事業 | 事務事業No. | 30101001079 | 所属課 | 防災課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？   |             |         |             |     |     |
| 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法に基づき平成26年6月に国土強靱化基本計画が策定され、平成29年2月に茨城県国土強靱化計画が策定されたのを受け、市においても大規模自然災害等から市民の生命財産を守り速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するため令和元年度に地域計画が策定された。地域計画策定当初（令和元年度）市長公室企画課より令和3年度に総務部防災課へ移管された。 |             |         |             |     |     |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？  |             |         |             |     |     |
| 県南部の地震により最大で震度6弱の地震が発生するおそれがあることが明らかになっているため、過去の災害から得られた教訓を踏まえ、今後は、事前災害及び減災その他迅速な復旧・復興に対する計画が重要となっている。  |             |         |             |     |     |

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

| 評価項目  |   |
|---|---|
| 現状維持  | ① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)  |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている<br>桜川市総合計画や地域防災計画をはじめとする様々な分野の計画等の国土強靱化関連部分の指針となるため、迅速な復旧復興等に係る防災・減災等に結びつく。                 |
|   | ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)   |
| 有効性   | <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である<br>本計画は強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国と強靱化基本法に基づく地域計画として策定する事務事業であり、国土強靱化の観点から自治体が行うことは妥当である。 |
|   | ③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)   |
|   | <input type="checkbox"/> 向上余地がない<br>国土強靱化を取り巻く社会経済情勢等の変化や施策の進捗状況等を考慮し計画推進する必要があるため、必要に応じて見直しを行なう。                                       |
| 効率性   | ④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)  |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 影響有<br>計画的に推進することにより、大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する施策であり、影響は大きい。                 |
|   | ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名   国土強靱化地域計画事業   |
| 公平性   | <input type="checkbox"/> 余地がない<br>強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（法律第95号、第10条）に基づく事務事業であり、類似事業はない。                               |
|   | ⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)   |
|   | <input type="checkbox"/> 削減余地がない<br>事業費については、令和7年度、計画改定に伴う業務委託料を計上した。人件費については、地域計画策定委員会等を開催するための最低限の事務従事者数であるため、削減の余地はない。               |
| ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)  |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である<br>甚大な被害をもたらす大規模自然災害を想定しており、本市に影響を及ぼすリスクに対して、人命の保護が最大に図られること、市及び地域の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されることという観点から公平・公正である。 |   |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

| (1) 1次評価者としての評価結果  |    | (2) 全体総括（振り返り、反省点）  |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
|--|----|---|----|----|--|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|--|---|---|----|--|---|---|
| ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり   | ⇒  | 市において大規模自然災害等から市民の生命財産を守り速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するため令和元年度に地域計画を策定した。策定当初は、市長公室企画課の所管であったが、事務事業の引継ぎを受け、令和3年度より総務部防災課へ移譲された。令和7年度に計画改定に伴う業務を行う。   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
| (3) 今後の事業の方向性  |    | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる )<br><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 |    | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> |    |    |  | コスト |  |  | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 |  |  |  | 維持 |  | ○ | × | 低下 |  | × | × |
|  |    | コスト   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
|  |    | 削減  | 維持 | 増加 |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
| 成果   | 向上 |   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
|  | 維持 |   | ○  | ×  |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
|  | 低下 |   | ×  | ×  |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策   |    | (6) 事務事業優先度評価結果   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |
|  |    | 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④   |    |    |  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |  |  |    |  |   |   |    |  |   |   |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

|   |   |
|---|---|
| (1) 課長評価  | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)        |
| 課長確認後の評価<br><input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止<br><input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | 確認欄<br><input checked="" type="checkbox"/> 確認 |